

外来における介護保険 主治医意見書代行作成 の取り組み

医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院



医療秘書室
脳神経外科

井口 祐希
佐藤 秀次

矢口 智子 小黑 香純

● ● ● | 当院の概要

◇ 病床数220床

一般病床60床

(脳卒中ケアユニット9床を含む)

療養病棟160床

(回復期リハビリテーション106床を含む)

◇ 脳神経外科専門の病院

◇ 総手術件数 (平成25年)

397件



医療秘書室業務内容

医師事務作業補助体制加算：25対1

◇書類代行作成

(診断書、診療情報提供書、
介護保険主治医意見書等)

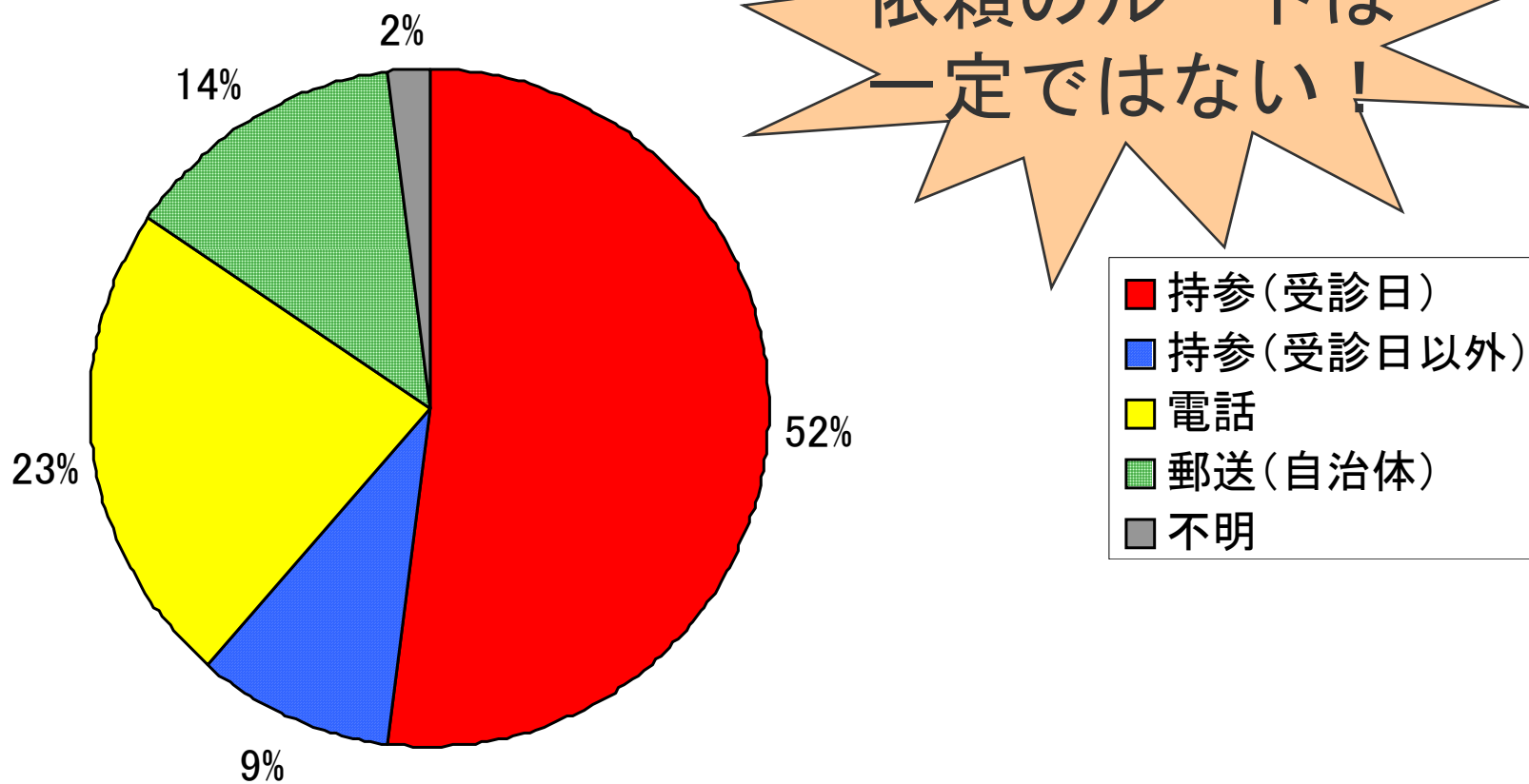
◇脳神経外科・神経内科の外来補助

◇専門外来・神経内科の診察予約

◇脊椎手術日程管理

³ (手術までの流れ説明、入院説明) etc...

意見書の依頼手段



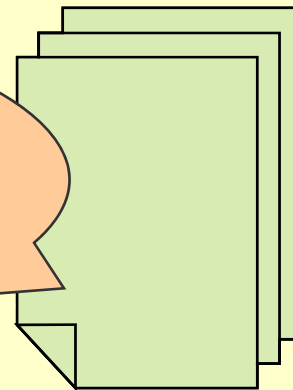


目的

◇意見書の取り扱いの一元管理

◇医師の書類作成にかかる時間の短縮と負担の軽減

外来通院中の患者が
対象となる場合は
すべて医療秘書室へ





依頼から交付までの流れ

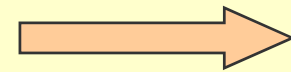
依頼者

医療秘書

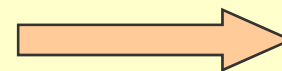
医師



作成依頼



確認依頼



生活状況聴取
書類交付

確認・修正

●●● | 作成時に参考となるもの

- ◇電子カルテ（医師が記載した記録）
- ◇診療情報提供書
- ◇過去に発行された診断書
（特定疾患など）
- ◇患者・家族・ケアマネージャーから
聴取した生活状況の記録

主治医意見書

記入日：平成26年1月24日



申請者	(ふりがな)	〒	921
		石川県野々市市	
	生(87 歳)	性別	女
		連絡先	076-

上記の申請者に関する意見は以下の通りです。

主治医として、本意見書が介護サービス計画作成に利用されることに 同意する 同意しない

医師氏名	佐藤 秀次	電話	
医療機関名	金沢脳神経外科病院	FAX	
医療機関所在地	石川県野々市市郷町262-2		

パソコンで
入力

(1)最終診察日	平成26年1月16日
(2)意見書作成回数	<input checked="" type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 2回目以上
(3)他科受診の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(有の場合) → <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科
	<input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科
	<input type="checkbox"/> 歯科 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (循環器内科)

1. 傷病に関する意見

(1)診断名(特定疾病または生活機能低下の直接の原因となっている傷病名については1.に記入)および発症年月日

1	アルツハイマー型老年認知症	発症年月日	(頃)	<input checked="" type="checkbox"/> 不詳
2	糖尿病	発症年月日	(頃)	<input checked="" type="checkbox"/> 不詳
3	狭心症	発症年月日	(頃)	<input checked="" type="checkbox"/> 不詳
4	アテローム血栓性脳梗塞	発症年月日	(平成22年 頃)	

(2)症状としての安定性 安定 不安定 不明

(「不安定」とした場合、具体的な状況を記入)

認知能力の低下が進行している。

(3)生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容

[最近(概ね6ヶ月以内)介護に影響のあったもの 及び 特定疾病についてはその診断の根拠等について記入]

記憶力低下と意欲低下が見られるようになり、平成25年9月17日に本院もの忘れ外来を受診。アルツハイマー型認知症と診断し、投薬と経過観察を行っている。長谷川式知的機能スケールは9点。

投薬内容

セロケン錠20mg 1錠 18時に服用
 フラセリクス錠75mg 1錠 シヤキビア錠50mg 2錠 ハイアスピリン錠100mg 1錠 ラック
 ス錠20mg 0.5錠 アリセプト錠3mg 1錠 アマリール1mg錠 1錠 1日1回 朝食後
 エルベールS900 900mg 2包 アツノ錠150mg 2錠 メトホルミド錠250mg 2錠 1日2
 回 朝・夕 食後
 ニトクニムTTS25mg 10cm2 1枚 一日一枚20時に貼付
 フロアリス錠8 8mg 1錠 1日1回 朝食後

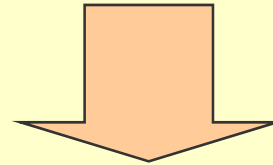
文書管理システム



履歴 (U)

新規 (N)

修正日	作成日	ファイル名	コメント	入外	医師	初回入力者	最終修正者	診療科	確定	依頼	確認
H26/ 1/25	H26/ 1/24	090 主治医意見書		(外)	佐藤 秀次	井口 祐希	井口 祐希	脳神経外科			

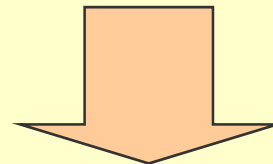


Click!

履歴 (U)

新規 (N)

修正日	作成日	ファイル名	コメント	入外	医師	初回入力者	最終修正者	診療科	確定	依頼	確認
H26/ 1/27	H26/ 1/24	090 主治医意見書		(外)	佐藤 秀次	井口 祐希	井口 祐希	脳神経外科		済	



履歴 (U)

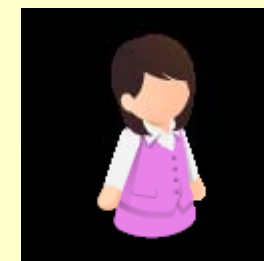
新規 (N)

修正日	作成日	ファイル名	コメント	入外	医師	初回入力者	最終修正者	診療科	確定	依頼	確認
H26/ 1/27	H26/ 1/24	090 主治医意見書		(外)	佐藤 秀次	井口 祐希	佐藤 秀次	脳神経外科		済	済

最終修正者は医師

登録書類の内容変更

[入退院管理メニュー](#) [今月のカレンダーへ戻る](#)



ID番号:	0262098		
患者氏名:	[REDACTED] 87才女		
進行状況:	作成済		
書類名:	介護保険主治医意見書		
作成部数:	1 (半角数字)		
病棟:	<input type="radio"/> SCU <input type="radio"/> 4病棟 <input type="radio"/> 3病棟 <input type="radio"/> 5病棟 <input type="radio"/> 6病棟 <input checked="" type="radio"/> 外来		
受付日:	2014年	1月	23日 受付担当: 井口 祐希
主治医:	佐藤 秀次		
秘書→医師:	(1/27)		(半角カナ不可)
医師→秘書:	(1/27)		(半角カナ不可)
受取者連絡先:	(半角カナ不可)		
交付希望日:	2014年	1月	23日 <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない場合にチェックする
作成期限日:	2014年	1月	31日 <input type="checkbox"/> 指定しない場合にチェックする
医師記載依頼日:	2014年	1月	27日 <input type="checkbox"/> 依頼していない場合にチェックする
作成終了日:	2014年	1月	28日 <input type="checkbox"/> 終了していない場合にチェックする
交付日:	2014年	1月	23日 <input checked="" type="checkbox"/> 未交付の場合にチェックする
特記事項:	(新規)提出依頼書あり。1/24(金)息子と面談。作成後、野々市市 (半角カナ不可)		
個人コード:	(半角数字)		
パスワード:			

書類の進捗状況を
把握



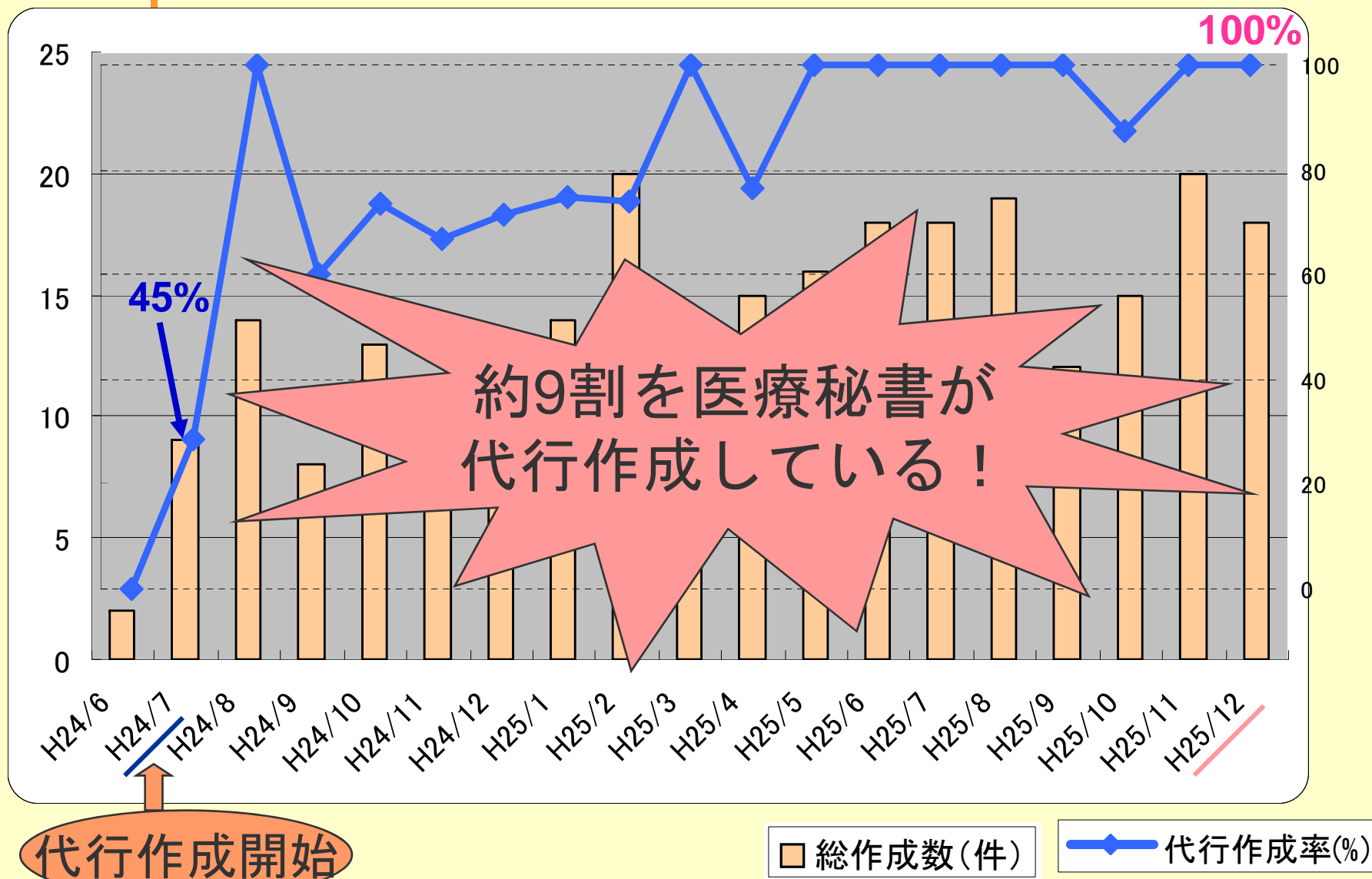
代行作成を開始するに あたり

◇医師やMSWを講師とした介護保険制度、
意見書の代行作成方法に関する勉強会を
実施

◇市役所職員による意見書作成の説明会に
出席



意見書作成件数(月別)と 医療秘書の代行作成率



書類の依頼から交付までの平均日数

脳外科 A	6.0日
脳外科 B	2.1日
脳外科 C	3.8日
脳外科 D	4.4日
脳外科 E	7.2日
神内 I	5.3日
神内 J	4.3日

約1週間で
書類をお渡し
している



ヒアリング調査結果



- ◇意見書は記載項目が多く、作成に時間がかかる。→負担が大きい。
- ◇診察時以外に意見書の依頼があると、生活状況に関する情報が不足して困った。
- ◇5名中4名「負担が軽減した」との回答
→今まで通り代行作成よろしく。



苦勞した点



◇新規申請の意見書作成

→申請方法説明＋生活状況の聴取に
約30分～1時間かかる！

◇必要な情報をわかりやすく記載
しなければならない



●●● | 工夫した点

◇マニュアルと作成例のまとめ

◇生活状況の聴取用のメモ作成

◇わかりやすい言葉で説明

→より短時間で多くの情報が得られるように

マニュアル

作成例

<介護保険主治医意見書の代行作成> 2013/12/19現在

★事前に診察・面談予定がわかっている場合は、外来受付やT4、外来介绍の秘書に伝えておくこと混乱はまずいと思います。
入院中の患者さんに関してはMOWに確認してください。
(患者情報に担当MOWの名前が書かれています)

- 1) 外来から連絡があった時
 - ①以下の項目を確認
 - ◇患者情報 (IC、名前、市町村など)
 - ◇新規か更新か
 - (新規の場合) かりつけ医の有無
 - かりつけ医のほうで通院頻度の多い時は、そちらで作成してもらったほうが望ましいです。
 - (更新の場合) 前回作成したDr
 - 前回と同じDrが作成するとは限りません。必ずカルテを確認してください。
- ② 前回も当該で作成している場合は文書管理に履歴がありますが、履歴がない場合は他院で作成された可能性があります。
- ◇カルテ内の記録

薬物療法の把握を確保

→ 1 階の相談室を利用する際は、別紙のカレンダーに使用時間帯と担当者名を必ず記入してください。相談室が空いていない場合は、副ドック室や他の診察室など、他に空いている部屋を使います。

④患者家族・ケアマネジャーを呼び、案内

→ ファイルに「介護保険面談依頼中」と書かれたピンクの札がクリップで留めてあります。
基本的には介護保険面談メモがついています。
→ 案内するときに本人の歩き方もチェックしましょう。

⑤生活状況の聞き取り調査

- 同伴者がいる場合は、本人とどのような関係なのかを確認します。
別居の家族の場合、事情を知らないことも多いようです。
同居の家族から話を聞くことが可能であれば、同居の家族からも聴取してください。
※本人と面談した場合でも、家族やケアマネジャーからの聴取が必要な場合もあります。
- ◇ (新規の場合) 介護保険の申請の流れも大まかに説明します。
必要に応じて介護保険のパンフレットを渡します。
- ◇ (更新の場合) 前回の記録をもとに変わったことがないかどうかを聞き取ります。
- ※完成後の処理方法 (手文か郵送か)、提出先、提出期限を必ず確認してください。

主治医意見書

申請者 男 女
生 (75 歳)

医師氏名 佐藤 秀次
医療機関名 金沢脳神経外科病院
医療機関所在地 石川県野々市市野々町262-2

(1) 最終診察日 平成25年10月19日
(2) 意見書作成回数 初回 2回目以上

(3) 他科受診の有無
 有 無
 (有の場合) → 内科 精神科
 皮膚科 泌尿器科 婦科
 歯科 その他 ()

傷病に関する意見
 診断名(特定疾病または生活機能低下の直接の原因となっている傷病名)
 1 重症アルツハイマー型老年認知症 発症年月日
 2 発症年月日
 3 発症年月日

(2) 症状としての安定性 安定
 (不安定とした場合、具体的な状況を記入)

(3) 生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及
 (最近(概ね6ヶ月以内)介護に影響のあったもの及び特定疾病に
 外来で投薬治療を継続している。
 平成25年10月19日受診時の長谷川式知的機能スケールは15点。
 頭部MRIは脳萎縮が中心であり、その他有意な所見は認められな
 かった。

2. 特別な医療 (過去14日間以内に受けた医療のす
 処置内容 点滴の管理 中心静脈栄養
 レスプレーター 気管切開の処置
 モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)
 カテーテル(Condomカテーテル、留置カ

3. 心身の状態に関する意見
 (1) 日常生活の自立度等について
 ・障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度) 自立
 ・認知症高齢者の日常生活自立度 自立

(2) 認知症の中核症状(認知症以外の疾患で同様の症状を認める場
 ・短期記憶 問題なし 自立
 ・日常の意思決定を行うための認知能力 自立
 ・自分の意思の伝達能力 伝えられる いく

(3) 認知症の周辺症状(該当する項目全てチェック; 認知症以外の
 無 有 { 幻視・幻聴 妄想 昼夜逆転
 火の不始末 不潔行為 異食行

(4) その他の精神・神経症状
 無 有 [症状名:]



<意見書作成用聴取表>

聴取日時
1/24(金) 9:10-9:40

ID・名前 262098 ○○○○

区分 新規・更新・区分変更

診察 未・済 ←最終 申請説明 未・済
1/16(木)

聴取対象 本人
同伴者：有・無 → (息子のみ)

通院施設 当院 脳外モの忘れ外来、循内
他科受診：有・無 → (眼科 6ヶ月に1回 白内障治療)
アミロイド認知症 高血圧症、房室心症治療

市町村	里子市市	有効期間	
介護保険			
サービス	週2~3回 お風呂、デイサービス利用できれば...		
備考	一人居。同市敷地内に息子家族が住んでいる。		

家族の
心遣い度
×
△
○
○
◎
△
↓
できることは
なるべく
自分で
させる

(日常生活)

食事	↓ 糖尿病のため		↓ 意欲もなし	
	粗食	生魚食べない	調理×	せんべい時だけ食べる
	ムセ、嚥下障害→	なし	体重→	42~43kg
移動	歩きにくい 立ち降りづつきあり 重たき出すのに時間がかかる。			
	外出→	近所に買い物	屋内→	手押し車(杖なし)
	転倒→	数年前骨折あり	屋外→	手押し車(杖なし)
入浴	本人嫌がる 湯あたりしたことがあり目が腐食せぬ 着替え同じ服			
排泄	昼→自分で 夜→紙オムツ 異臭するも本人気づかず...			
認知	食材をたくさん買い込み腐らす。火加減× 常に最大火力→焦げる 貝布布なぐし= 薬は息子管理 ぶつ(+) 暴言(-)			
睡眠	「誰かがしゃべっていて眠れない」と言い近所へ行く。朝は息子起す。			
その他	息子 7:00-8:30の間に約5回訪問 耳が遠い 昼夜逆転(-)			

完成後の処理
里子市市役所に郵送
依頼書あり(院長宛て)
しめきり：2/3(月)

身長：137~8cm 火田仕事大好き
強情な性格

聴取メモの例





実際に取り組んでみて



◇意見書の一元管理

→進捗状況が把握しやすくなった。

◇記載漏れの減少

→自治体からの問い合わせが激減した。

◇医師の負担軽減



今後に向けて



◇より良い意見書の代行作成

→医学面・介護面双方の知識取得

患者の状態をより正確に記載する。

◇リハビリテーション科の外来に通院中の患者分に関しても同様に意見書の代行作成に取り組めるようにする。